



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月29日

上場会社名 株式会社だいこう証券ビジネス 上場取引所 東・大  
 コード番号 8692 URL <http://www.daiko-sb.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 晃  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 大矢 光一 (TEL) 03-3666-2231  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,118	42.7	303	—	367	—	469	—
24年3月期第2四半期	5,689	△4.3	△105	—	△61	—	△110	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 330百万円 ( —%) 24年3月期第2四半期 △169百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	18.43	18.39
24年3月期第2四半期	△4.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	44,548	24,062	52.3	915.61
24年3月期	42,604	23,999	54.5	912.55

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 23,309百万円 24年3月期 23,231百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年3月期	—	7.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	36.5	500	83.5	600	77.6	600	—	23.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期2Q	25,537,600株	24年3月期	25,537,600株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	80,085株	24年3月期	79,942株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期2Q	25,457,572株	24年3月期2Q	25,457,901株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
(4) その他	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	13
(1) 自己資本規制比率(個別)	13
(2) 株式売買高(先物取引を除く)(個別)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復基調にあったものの、欧州政府債務危機による景気下押しリスクや電力供給の制約に対する懸念が存在する等、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは中期経営計画（平成23年度から平成25年度まで）の2年目となる平成24年度において、『持続的な成長軌道』への復帰を果たすため、引き続き、「サービスの高品質化・高付加価値化」および「業務体制の効率化」を柱とした諸施策に鋭意取り組んでおります。その具体的な施策の一つとして、ITサービス事業の強化を図るため、平成24年7月31日付で、証券バックオフィスシステムのアウトソーシングサービスに強みを持つケーシーエス株式会社（旧富士ソフトケーシーエス株式会社）を子会社化いたしました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、ケーシーエス株式会社の子会社化等によりITサービス事業の収益が拡大したため、営業収益は81億18百万円（前年同四半期比42.7%増）となりました。一方、ITサービス事業に係る費用が増加したものの、前期に実施した希望退職や事務所の集約等により費用削減が図られ、営業利益は3億3百万円（前年同四半期比4億8百万円改善）、経常利益は3億67百万円（前年同四半期比4億28百万円改善）となりました。また、金融商品取引責任準備金戻入等を特別利益として計上した結果、四半期純利益は4億69百万円（前年同四半期比5億80百万円改善）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりであります。

#### ① バックオフィス事業

バックオフィス事業におきましては、業務内容の見直しにより口座振替等の業務量が減少したものの、相続手続き事務代行サービスや外国株式業務等の高付加価値サービスは、新規顧客の獲得等により堅調に推移いたしました。これらの結果、営業収益は37億78百万円（前年同四半期比9.1%減）、セグメント利益（営業利益）は23百万円（前年同四半期比1億83百万円改善）となりました。

#### ② ITサービス事業

ITサービス事業におきましては、大手証券会社向けの証券バックオフィスシステムの提供およびその業務サポートが堅調に推移したことに加え、平成24年7月に子会社化したケーシーエス株式会社の業績が反映されたこと等により、営業収益は35億31百万円（前年同四半期比395.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2億13百万円（前年同四半期比861.3%増）となりました。

### ③ 証券事業

証券事業におきましては、前期に大口顧客を獲得したことにより株式等間接口座管理サービス（CLS）が堅調に推移したものの、株式市況の低迷により顧客証券会社からの委託手数料等が減少いたしました。これらの結果、営業収益は6億23百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益（営業利益）は34百万円（前年同四半期比26.7%減）となりました。

### ④ 金融事業

金融事業におきましては、証券担保ローンの融資残高が堅調に増加したことにより貸付金利息が増加し、営業収益は1億85百万円（前年同四半期比9.0%増）となりましたが、株式市況の低迷を受けて、セグメント損失（営業損失）は2百万円（前年同四半期比18百万円改善）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は445億48百万円で、前連結会計年度末に比べ19億43百万円増加しました。これは主に、信用取引借証券担保金等が減少した一方で、営業貸付金、営業未収入金等が増加したことによるものです。また、負債合計は204億85百万円で、前連結会計年度末に比べ18億80百万円増加しました。これは主に、信用取引貸証券受入金等が減少した一方で、短期借入金等が増加したことによるものです。純資産合計は240億62百万円で、前連結会計年度末に比べ63百万円増加しました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は52億64百万円となり、前連結会計年度末より2億27百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

#### イ 営業活動によるキャッシュ・フロー

7億94百万円の資金の減少（前年同四半期は9億85百万円の資金の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7億18百万円、営業貸付金の増加額18億61百万円、信用取引負債の減少額19億14百万円によるものであります。

#### ロ 投資活動によるキャッシュ・フロー

11億9百万円の資金の減少（前年同四半期比69億36百万円の資金の増加）となりました。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出18億7百万円によるものであります。

#### ハ 財務活動によるキャッシュ・フロー

21億29百万円の資金の増加（前年同四半期比20億92百万円の資金の減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額23億83百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の連結業績予想につきましては、前回(平成24年8月31日)公表の業績予想の数値から変更はありません。

(4) その他

(当社普通株式に対する公開買付け)

株式会社野村総合研究所(以下「野村総合研究所」といいます。)は、平成24年9月14日付で当社普通株式に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)を行う旨を発表いたしました。

平成24年9月18日から同年10月16日まで実施された本公開買付けの結果、平成24年10月23日(本公開買付けの決済の開始日)付で野村総合研究所の所有株式数は9,240,164株(発行済株式総数の36.18%)になり、野村総合研究所は、新たに当社の主要株主である筆頭株主およびその他の関係会社に該当することになりました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得したケーシーエス株式会社を連結の範囲に含めております。

また、当第2四半期連結会計期間より、連結子会社であった代行科技(大連)有限公司を出資持分の譲渡に伴い、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、主として法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,874	5,061
預託金	496	631
営業貸付金	12,292	14,097
信用取引資産	8,735	6,865
信用取引貸付金	4,901	4,415
信用取引借証券担保金	3,833	2,450
たな卸資産	—	9
営業未収入金	1,274	1,995
有価証券	162	202
短期差入保証金	3,163	3,677
その他	538	497
貸倒引当金	△250	△309
流動資産合計	31,285	32,729
固定資産		
有形固定資産	1,710	1,803
無形固定資産		
ソフトウェア	7,080	6,737
その他	75	312
無形固定資産合計	7,155	7,049
投資その他の資産		
投資有価証券	2,130	1,894
その他	452	1,185
貸倒引当金	△129	△115
投資その他の資産合計	2,453	2,965
固定資産合計	11,318	11,818
資産合計	42,604	44,548
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	5,525	7,908
信用取引負債	6,320	4,406
信用取引借入金	1,585	1,154
信用取引貸証券受入金	4,735	3,252
有価証券担保借入金	270	255
有価証券貸借取引受入金	270	255
営業未払金	332	469
未払法人税等	88	385
短期受入保証金	3,639	4,130
賞与引当金	155	387

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
その他	1,104	1,136
流動負債合計	17,439	19,078
固定負債		
退職給付引当金	474	1,085
その他	135	138
固定負債合計	609	1,224
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	556	182
特別法上の準備金合計	556	182
負債合計	18,605	20,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,903	8,903
資本剰余金	11,727	11,727
利益剰余金	2,615	2,894
自己株式	△53	△53
株主資本合計	23,193	23,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	△162
土地再評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△4	—
その他の包括利益累計額合計	38	△162
新株予約権	38	22
少数株主持分	728	730
純資産合計	23,999	24,062
負債純資産合計	42,604	44,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	5,689	8,118
営業費用	2,983	5,032
営業総利益	2,705	3,086
一般管理費	2,810	2,783
営業利益又は営業損失(△)	△105	303
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	29	28
受取賃貸料	8	13
その他	6	19
営業外収益合計	47	63
営業外費用		
為替差損	3	—
その他	0	0
営業外費用合計	3	0
経常利益又は経常損失(△)	△61	367
特別利益		
投資有価証券売却益	6	—
金融商品取引責任準備金戻入	161	373
その他	22	45
特別利益合計	191	419
特別損失		
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	8	7
子会社株式売却損	—	8
減損損失	29	45
事務所移転損失	71	—
その他	0	5
特別損失合計	111	68
税金等調整前四半期純利益	18	718
法人税、住民税及び事業税	83	233
法人税等調整額	8	△46
法人税等合計	92	187
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△74	531
少数株主利益	36	61
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△110	469

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△74	531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97	△205
為替換算調整勘定	2	4
その他の包括利益合計	△95	△200
四半期包括利益	△169	330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△206	268
少数株主に係る四半期包括利益	36	61

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	18	718
減価償却費	487	939
減損損失	29	45
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	98
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	117
退職給付引当金の増減額(△は減少)	50	38
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	△161	△373
受取利息及び受取配当金	△278	△305
支払利息	39	56
子会社株式売却損益(△は益)	—	8
預託金の増減額(△は増加)	△3	△134
営業貸付金の増減額(△は増加)	△2,288	△1,861
信用取引資産の増減額(△は増加)	1,387	1,869
有価証券担保貸付金の増減額(△は増加)	2,789	—
営業未収入金の増減額(△は増加)	△273	418
未払費用の増減額(△は減少)	△10	△564
短期差入保証金の増減額(△は増加)	△38	△532
信用取引負債の増減額(△は減少)	△859	△1,914
有価証券担保借入金の増減額(△は減少)	△3	△15
営業未払金の増減額(△は減少)	142	△93
短期受入保証金の増減額(△は減少)	87	490
長期未払金の増減額(△は減少)	△0	—
その他	△399	△1
小計	748	△995
利息及び配当金の受取額	281	322
利息の支払額	△39	△53
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5	△67
営業活動によるキャッシュ・フロー	985	△794
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6	△37
無形固定資産の取得による支出	△8,104	△173
有価証券の売却及び償還による収入	50	—
投資有価証券の売却による収入	44	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,807
短期貸付金の回収による収入	—	900
その他	△29	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,046	△1,109

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,472	2,383
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△190	△190
少数株主への配当金の支払額	△60	△60
その他	—	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,221	2,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,836	227
現金及び現金同等物の期首残高	7,668	5,036
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	157	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,989	5,264

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	4,158	712	647	170	5,689	—	5,689
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	41	—	—	—	41	△41	—
計	4,199	712	647	170	5,730	△41	5,689
セグメント利益 又は損失(△)	△160	22	47	△20	△111	5	△105

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額5百万円には、セグメント間取引消去5百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	バックオフィス	I Tサービス	証券	金融	全社・消去	合計
減損損失	28	0	0	0	—	29

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	バック オフィス	I T サービス	証券	金融	計		
営業収益							
外部顧客への営業収益	3,778	3,531	623	185	8,118	—	8,118
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	39	26	—	—	66	△66	—
計	3,817	3,558	623	185	8,185	△66	8,118
セグメント利益 又は損失(△)	23	213	34	△2	269	33	303

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額33百万円には、セグメント間取引消去33百万円が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産の情報

「I Tサービス」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間にケーシーエス株式会社を連結子会社としたことなどにより、セグメント資産は前連結会計年度の末日に比べ、3,474百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	バックオフィス	I Tサービス	証券	金融	全社・消去	合計
減損損失	45	0	—	—	—	45

(のれんの金額の重要な変動)

「I Tサービス」セグメントにおいて、当第2四半期連結会計期間にケーシーエス株式会社を連結子会社としたことにより、のれんを計上しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、269百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 自己資本規制比率(個別)

		前事業年度末 (平成24年3月31日) (百万円)	当第2四半期会計期間末 (平成24年9月30日) (百万円)
基本的項目	(A)	22,350	22,436
補完的項目	その他有価証券評価 差額金(評価益)等	81	22
	金融商品取引責任準備 金等	556	182
	一般貸倒引当金	42	46
	計	681	251
控除資産	(C)	10,137	11,579
固定化されていない 自己資本	(A) + (B) - (C) (D)	12,894	11,108
リスク相当額	市場リスク相当額	346	297
	取引先リスク相当額	363	407
	基礎的リスク相当額	1,769	1,884
	計	2,480	2,589
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100	519.9%	428.9%

(2) 株式売買高(先物取引を除く)(個別)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
	株数(百万株)	金額(百万円)	株数(百万株)	金額(百万円)
合計	1,979	832,448	1,778	848,496
(自己)	(0)	(49)	(0)	(2,240)
(委託)	(1,979)	(832,398)	(1,778)	(846,256)
委託比率	99.9%	99.9%	99.9%	99.7%